

## インドネシアKNSS社が 営業運転開始

新日鉄住金とクラカタウ社のインドネシアにおける自動車用鋼板製造・販売合弁会社PT KRAKATAU NIPPON STEEL SUMIKIN(KNSS)社が、7月24日に営業運転を開始しました。

KNSS社は、連続焼鈍ラインと溶融亜鉛めっきラインを一体化させた最新鋭の自動車鋼板製造ラインを設置。自動車用外板、1・2GPa級までの高張力鋼板を含む高級・高品質の冷延鋼板・溶融亜鉛めっき鋼板を提供し、インドネシアにおける自動車メーカーのニーズに的確に対応していきます。

新日鉄住金とクラカタウ社はKNSS社を通じ、高級・高品質鋼板の現地生産化により、インドネシア自動車産業のさらなる発展に貢献していきます。



KNSS社

## 資源循環システムの開発で 最高賞「経済産業大臣賞」を 受賞

新日鉄住金が開発した合金鉄溶解炉による資源循環システムが、「平成29年度資源循環技術・システム表彰 経済産業大臣賞」を受賞しました。本賞は先進的で高度な3R※技術・システムを有する事業・取り組みを顕彰するものです。

この開発により、ステンレス鋼製造時の副産物(クロム含有スクラップ・ダスト・スケール)の全量リサイクルが可能となるとともに、副産物(スラグ)発生量のミニマム化、大量の電気を消費して製造される合金鉄や生石灰の省資源化が可能となります。



※リデュース(削減)、リユース(再利用)、リサイクル(再利用)

## 自転車交通安全の 取り組みで 尼崎市より表彰

尼崎製造所は10月1日「尼崎市自転車まちづくりセレモニー&キャンペーン」で尼崎市より表彰されました。尼崎製造所では構内で働く人の約半数が自転車通勤、構内でも自転車移動が多いため、新入社員教育をはじめとした社員教育に加え、尼崎南警察署の講演や自転車検定制度の新規導入など、自転車の交通安全に対する取り組みを進めています。今回はこの熱心な取り組みが評価されました。



記念式典の様子



開所式の様子



江蘇大劇院 Jiangsu Grand Theatre  
 施主：江蘇省政府、面積：7万3,000㎡、チタン素材使用量：85トン

※アルポリック/fr@TCM は面材にチタンを使用したチタン複合板。チタン独特の意匠性と抜群の耐食性を備える。さらに、複合板にすることにより、同じ強度のままチタン単板よりも軽量化が図れる。不燃認定を取得しており、外装材や屋根材として使用可能。

新日鉄住金では、港湾設備の埋戻材料、海岸堤防や道路の盛土材料などへの有効活用を含め、社会インフラの整備に幅広く貢献していきます。



※カルシア改質材：製鋼工程で副次的に生成される製鋼スラグを原料とし、成分管理と粒度調整を施した軟弱浚渫土改質材

## カルシア改質土を埋立工事に活用

国土交通省四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所発注の東予港埋立工事で、新日鉄住金のカルシア改質材※が活用されました。

東予港浚渫工事によって発生した浚渫土にカルシア改質材を混合し改質することによって、液状化に強いという特性が備わり、耐震強化岸壁の埋立工事の一部に活用されました。

## ベトナム新日鉄住金 ハノイ駐在事務所が 開所式を開催

新日鉄住金は2016年12月1日に業務を開始したベトナム・ハノイの駐在事務所の開所式を7月28日、ハノイのホテルで開催しました。開所式には、梅田邦夫駐ベトナム大使、ベトナム運輸省ケン・ゴック・ドン次官、ベトナム交通大学(UTC)のケン・ゴック・ロン学長、日越大学(VJU)の古田元夫学長ら政府・大学関係の方々など約160人が出席し、盛大に行われました。

新日鉄住金は過去10年以上にわたり、ベトナムの政府や大学、研究機関と共同でベトナムの気候風土や環境に適合した土木製品・工法の開発を続けています。今回のハノイ駐在事務所開所に伴って、さらに強化された体制・人員により、今後伸びゆくベトナムマーケットにおけるニーズに的確に対応していきます。

## 中国江蘇省の劇場外装に 意匠性チタン製品が採用

新日鉄住金の意匠性チタン製品「Titan Tixxi」®を使用した三菱ケミカル(株)製のチタン複合板アルポリック/fr@TCMが採用された江蘇省の江蘇大劇院(Jiangsu Grand Theatre)が完成し、8月5日に正式オープンしました。

建築総面積27万㎡と江蘇省内で最大の文化施設である本物件は、これまで新日鉄住金が国内外で受注したチタン製品において、過去最大の採用面積となります。

これまでの中国での採用実績に加え、新日鉄住金が開発した優れた質感の意匠性と、通常であれば変色してしまうチタンを独自の技術開発により変色しにくくした特性、およびTCMの特長である平坦度の高さ、軽量性、不燃性、経済性などが高く評価され、採用されました。

## 米国ICI操業25周年式典を開催

新日鉄住金の米国における鍛造クラックシャフト製造・販売事業会社インターナショナル・クラックシャフト社(ICI)は、8月21日に操業25周年を記念する式典を開催しました。

当日は、ジョージタウン市のトム・ブレイサー市長、スコット郡のジョージ・ラズビー判事、新日鉄住金関係者など約100人が出席し、操業開始25周年を祝いました。

ICIの現在の生産能力は年間約400万本となり、日本における新日鉄住金の鍛造クラックシャフトの生産能力とほぼ同じ規模となっています。ICIは、今後も米国マーケットでのクラックシャフト需要を捕捉していきます。



写真左から、スコット郡 ジョージ・ラズビー判事、ジョージタウン市 トム・ブレイサー市長、新日鉄住金 交通産機品事業部長 竹越常務執行役員、ICI 大月克文社長



## 『季刊 新日鉄住金』バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.nssmc.com/company/publications/quarterly-nssmc/index.html>

なお、定期送付ご希望の方は上記アドレスより申し込みください。